

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

<p>研究課題名 前立腺強度変調放射線治療における近接臓器体積が前立腺体内変動量にもたらす影響</p>
<p>1. 研究の対象および研究対象期間 2016年4月～2018年3月までに昭和大学病院において前立腺癌に対する強度変調放射線治療を施行した患者</p>
<p>2. 研究目的・方法 前立腺癌の治療法の1つとして、強度変調放射線治療（IMRT）を用いた放射線療法があります。IMRTは正常組織を避けつつ前立腺癌のみに限局して放射線を照射することが可能な治療技術であり、手術と同等の治療効果が得られているとの報告があります。その一方で、前立腺は膀胱と直腸に近接している臓器であり、膀胱体積や直腸ガスなどの生理現象により、前立腺の位置が変動することがあります。これらの生理的位置変動を防ぐため、当院では治療前に前処置として、排便排尿後の飲水および数十分の蓄尿をしています。しかしながら、前処置を施行しているにも関わらず膀胱体積及び直腸ガスが再現されない場合も多く見受けられます。本研究では、治療計画CTおよび治療前に撮影するCT（CBCT）から算出した前立腺及び近接臓器体積量と前立腺の体内変動量の関連性を調べ、生理現象による前立腺体内変動量の推定を目的としています。</p> <p>研究期間 昭和大学病院臨床試験審査委員会承認後、病院長による研究実施許可を得てから2019年3月まで</p>
<p>3. 研究に用いる試料・情報の種類 年齢、身長、体重、IMRT施行前の前処置の内容、治療計画CTおよび各治療前CBCT時における臓器体積量（前立腺、膀胱、直腸）および治療計画CT時に対する放射線治療時の前立腺臓器変動量</p>
<p>4. お問い合わせ先 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属：昭和大学病院 放射線室 研究責任者：藤井 智希 住所：142-8666 東京都品川区旗の台1-5-8 電話番号：03-3784-8000(内線8582)</p>